



ムストホフ志木だより

～ 愛 と 感 謝 と 奉 仕 ～



居宅介護支援事業所 ブロン
ケアマネジャー M・M

『幸せの輪を手から手へ』

皆様に支えられ、入職して半年になります。居宅介護支援事業所には4名の個性豊かな先輩がおり、日々楽しく学ばせてもらっております。

介護に関わるようになり20年が経ちました。様々な出会い、その出会いは宝物になっており、人生の大先輩達から沢山のことを教えて頂きました。「人には人が必要」と強く思うようになり、私自身の生き方にも影響がありました。また、「愛の反対は無関心」とマザーテレサさんは仰いました。関わりを持つことの重要さ、心の接触の大切さを介護の世界で深く理解することができました。

今は核家族化が進み、人と関わることや、簡単に手を差し伸べる事すら考えてしまう時代かもしれせん。そんなご時世ですが、私の趣味として「アロマハンドケア」、「タクティールケア」があります。学ぶきっかけとなったのは、母の介護からでした。

アロマと言うと、かしくまった感じがしますが、誰しも香りにホッとしたことがあると思います。檜のお風呂、青々とした新緑、初夏に咲くミカンの花の香り、知らず知らずのうちに香りに癒されています。良い香り、心地よさは脳に伝わり、リラックス効果をもたらします。

また、手を使うことで脳が活発に動くことはよく知られています。手からは様々な感情が生まれます。好みの香りの中、そっと手を包み込むように撫でるだけで、幸福感を感じるホルモンの分泌を促す事ができます。「アロマハンドケア」や「タクティールケア」は、大切な方の手や背中に触れ、触れることで心にも接触し、個として認めます。難しい手技でなくとも、大切に思う心があればいいと思います。

人と人との接触が難しい今、触れる事が減ってきているからこそ、幸せの輪を手から手へ繋げていくことが出来る日を待ち望んでおります。

【4月のご様子】

4月に入り当施設内の特別感染防止対策が解除され、暖かい日を選んでご利用者をお花見にお連れしました。久しぶりに屋外に出て「やっぱり外は気持ちが良いね!」、「桜を近くで見られて良かった!」などの声が多く聞かれ、皆様笑顔で過ごされていました。また、24日(日)には4月生まれの方々をお祝いする誕生会を開催しました。今年は83歳から最高齢は102歳の方が誕生日を迎えられました。皆様にはこれからも元気に楽しい毎日を過ごしていただきたいと、職員一同、心から願っております。

介護職員：T・I 記

《 お花見 》



『桜をバックにハイチーズ📷』

《 誕生会 》



『お誕生日、おめでとうございます!』



『素敵なプレゼント、ありがとう❤️』

特別養護老人ホームブロン5月の予定

- 母の日 8日(日) ■ 店屋物 14日(土) ■ 理美容 9日(月)・17日(火)
- 誕生会 22日(日)

厨房だより

こどもの日に「ちまき」や「柏餅」を食べるようになったのは・・・

「ちまき」は関西地方で、「柏餅」は関東地方でよく食べられています。もともと端午の節句には「ちまき」が食べられていました。奈良時代、端午の節句が中国から伝わったときに、お供え物として「ちまき」も一緒に伝えられたといわれています。「ちまき」は笹にもち米を包んで蒸しますが、本来は茅(ちがや)の葉で巻いていたことから、「茅巻き(ちまき)」と呼ばれるようになったといわれています。茅の葉が使われていたのは、中国では茅が邪気を払う植物だと考えられていたからだそうです。その後、日本各地に広まっていくにしたがって改良や簡略化され、茅の葉が笹や真菰(まこも)に変わったり、もち米の代わりに餡(あん)を包んだ餅や葛餅に変わっていったとされています。そのため、一口に「ちまき」といっても地域によって見た目や味は様々です。

一方、「柏餅」が端午の節句に食べられるようになったのは、江戸時代からだといわれています。これは、端午の節句が「男の子の健やかな成長を願う日」として一般的にお祝いされるようになったためです。柏の葉は、新芽が出るまで葉が落ちないという特徴から、「家系が途絶えない」という子孫繁栄の意味があり、昔から神事に用いられてきました。

「柏餅」を食べる風習は関東地方を中心に定着していく中、関西地方では柏が育ちにくかったこと、伝統を重んじる上方文化が栄えたという背景から、ちまきが食べ続けられたとされています。



栄養課：H・K 記

ケアハウスリヒト

【4月のご様子】

4月1日付でこれまでのWに代わり、湊谷(みなとや)がケアハウスリヒトの生活相談員を担当することとなりました。慣れない点が多くあるかと思いますが、皆様何とぞよろしくお願いいたします。

さて、今回掲載させていただいた写真は、毎日9時55分から行っている「テレビ体操の様子」と、地域の方からご寄付いただきリヒトの食堂に飾られた「五月人形」です。一日も早くコロナが終息し、ご家族の方々も各種行事と一緒に参加いただける日が来ることを願うばかりです。

相談員：M・M 記

《 毎日行っている体操 》



『朝9時55分から体操しています♪♪』

《 五月人形 》



『とても荘厳な鎧飾り。のぼりは天井に届くほどです』

ケアハウスリヒト5月の予定

- 母の日の祝い・誕生会 8日(日) ■ 入居者懇談会 13日(金)
- 理美容 9日(月)・17日(火)

グループホームブロン

【4月のご様子】

今年は桜の見ごろの期間が長く、4月の月上旬までお花見を楽しむことができました。土手沿いには連日多くの方々がお花見に来ていました。まだまだ油断ができない状態ですが、少しずつ以前の生活が戻ってきているように感じられました。

4月は「木曽路」から取り寄せた店屋物や夕食作りで食の春を堪能しました。今回の夕食作りのメインメニューは「手作りかに玉」。皆様柔らかな食感を楽しんでいらっしゃいました。

介護職員：S・T 記

《 お花見 》



『外で見る桜は格別🌸』

《 夕食作り 》



『包丁さばき、見事ですね！』



『美味しいね〜❤️』

グループホームブロン5月の予定

- 母の日 8日(日) ■ 誕生会 3日(火)・5日(木)・12日(木)・26日(木)
- 理美容 9日(月)・17日(火) ■ おやつ作り 15日(日) ■ 夕食作り 29日(日)

【4月のご様子】

今年の桜も昨年同様開花が早く、3月後半ごろよりデイサービスのフロア入口の扉を開放して、皆様とさわやかな空気に触れながら鑑賞しました。桜と一緒に記念撮影をされるなど、皆様笑顔いっぱい楽しまれていました。快晴の日には、空の青さと桜のピンク色のコントラストがとてもきれいでしたね！

--- 【お知らせ】 ---

4月1日よりデイサービスブロンの生活相談員は、これまでのMに代わりWが担当することとなりました。この場をお借りして紹介させていただきます。 介護職員：N・S&N・M 記

◀ 新相談員 ▶



『M・Wです。どうぞよろしく
お願いいたします！』

◀ お花見 ▶



『桜、きれいだねえ🌸』

◀ 貼り絵 ▶



『今月は貼り絵作りにチャレンジ😊』

デイサービス5月の予定

■ 母の日週間 2日（月）～7日（土）

■ 菖蒲湯 5日（木）

ルストホフ志木 トピックス

「手作りようじ入れ」をいただきました

この度、市内柏町の中野婦人会様より、手作りの「ようじ入れ」を100セット以上も頂戴しました。

写真でもお分かりのように、これらの「ようじ入れ」の1つ1つはカラフルなデザインの色紙でシャツの形に折られています。襟元や袖口など、非常に細かいところまで丹念に作られていて、完成するまでには相当の時間と労力がかかっていることが伝わってきます。いただいた作品は、ルストホフ志木のご利用者・ご家族の皆様にお配りさせていただきます。

中野婦人会様にはこの場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。素敵な贈り物、本当にありがとうございました。

